

福井駅周辺地区交通戦略における各施策の進捗状況

○福井駅周辺地区交通戦略 施策一覧表

目標	施策	スケジュール			実施主体	実施状況	達成状況	今後の取組・課題等
		短期 （R3～R5）	中期 （R6～R9）	長期 （R10～）				
<1> 歩いて楽しい、歩きたくなるみちづくりをめざす								
① 道路改築による快適な歩行空間の整備								
1	道路空間構成の見直し 〔中央大通り〕	●			福井土木事務所	・中央大通り(福井駅前～大名町交差点区間)の歩道整備を実施した。(R4～R5) ・整備にあたっては、歩行者利便増進道路制度「ほこみち」による活用を想定して歩行空間と滞留空間を区分したほか、人工芝による緑化やベンチ、夜間の間接照明などの整備を行い、快適な空間整備となるよう努めた。	② 完了見込	・整備した歩行空間を活用して、平日のランチタイムを中心にまちづくり福井横が「ふくみち」を実施しにぎわいづくりと回遊性の向上に取り組んでいる。 ・今後、再開発工事との調整で未実施となっている残工事を実施予定である。
2	道路空間構成の見直し 〔御本丸大手町線〕	●			福井土木事務所	・北陸新幹線福井開業にあわせて、御本丸大手町線のを歩道整備を実施した。(R4～R5)	① 完了	
3	道路空間構成の見直し 〔東大通り〕		●		福井土木事務所	・R5～8年度にかけて東大通り(福井駅東～城東橋区間)の歩道高質化や植栽、ベンチの設置等に取り組んでいる。	③ 取組継続	
② 再開発事業等によるセットバック空間と一体となった歩行者空間の創出								
1	市街地再開発事業等により生み出される公開空地を活用した歩行者空間の創出	●	●		A街区再開発組合	・再開発事業において駅前電車通り側に2mのセットバック空間を設け、歩道敷地と一体的な歩行空間となるよう整備し、にぎわいの創出や回遊性の向上を図った。	③ 取組継続	・現在、再開発事業区域に面する駅前電車通りにて、「ふくみち」の試行事業にも取り組んでおり、ハビテラス界限から電車通りに向けた人の流れの創出につながっている。
		●	●		都市整備課	・再開発事業にあわせて、複数箇所あった荷捌きエリアの整理統合を図るなど、駅前電車通りのA街区(FUKUMACHI BLOCK)区間の歩道リニューアル工事を実施した。(R5及びR6、再開発組合に委託) ・県道の中央大通り側についても、県と協議して「ふくみち」での利活用を想定した歩行者空間整備を行った。	③ 取組継続	・今後は、隣接するB街区周辺の歩道リニューアルに向けた検討、整備を実施する。
③ 安全な自転車通行環境の整備								
1	自転車通行空間の整備	●	●		自転車利用推進課	検 討 中	③ 取組継続	・県が福井駅周辺に整備した自転車通行空間を含めたふくチャリおすすめ観光ルートを作成し、広報する。
2	安全性を向上させる路面表示等の設置	●	●		自転車利用推進課		③ 取組継続	・他路線での導入に向けて検討を行う。
④ 歩行環境が重視され、ゆとりある空間を演出する舗装の高質化								
1	歩行者、自転車、自動車の動線及び交通マネジメントを考慮した舗装の高質化	●	●	●	都市整備課	・福井駅周辺の歴史資源をつなぐ回廊を形成するため、養浩館庭園へ誘う動線を整備した。(主に城址北側において舗装の高質化や融雪装置の整備等を実施)	③ 取組継続	・福井城址周辺(主に城址東側)において、歴史資源をつなぐ回廊を形成するため、養浩館庭園へ誘う動線を整備する。
⑤ ICT技術等を活用した集配送の効率化と荷捌き場所の集約化								
1	ICT技術等を活用した配送の効率化と共通の荷捌き場所の集約化に向けた検討	●	●	●	都市整備課	検 討 中	③ 取組継続	・検討継続

○福井駅周辺地区交通戦略 施策一覧表

目標	施策	スケジュール			実施主体	実施状況	達成状況	今後の取組・課題等
		短期 （R3 ～ R5）	中期 （R6 ～ R9）	長期 （R10 ～ R12）				
<2> 人がまちなかを歩き、にぎわいを創る仕組みをつくる								
① 道路や広場等を活用するプレイヤーが使いやすい環境づくり								
1	道路や広場を活用したにぎわいの創出	●	●		都市整備課	・道路空間の新たな活用方法に向け、民間事業者を交えたワークショップを開催するなど、民間事業者が主体となって事業を推進していくための取組を進めた。	③ 取組継続	・福井駅前電車通りで社会実験を実施する。
		●	●		まちづくり福井㈱	・中央大通り及び県庁線を活用し、歩行者利便増進道路事業(通称:ふくみち事業)の社会実験(R3:2回(10月、2月)・R4:2回(6月、10月)・R5:2回(6月、8月))を実施した。また、社会実験後に周辺事業者を交えたワークショップを開催した。 ・関係機関と協議を重ねながら、歩行者利便増進計画の策定や、占用指針の検討・作成を行った。	③ 取組継続	・社会実験を経て、R6.3月より、まちづくり福井を占有者として、本格運用を開始した。 ・当面はランチタイムを中心にした、キッチンカー運用に限定しながら、さまざまな活用方法を検討していく。
② 道しるべとなる案内サイン、路面表示の拡充								
1	既設の拠点サイン、誘導サインの表記内容の再整理	●			都市整備課	・城址回り等7箇所へ、既存サインに版面を追加する形で、今昔比較の情報を追加し、想像しながら城址周辺を回遊してもらうための整備を実施した。(R4～R5)	① 完了	・景観に配慮した既存のサインでは気づきにくいことから、より目立つ案内サインへの改変を求める声もある。
2	拠点サイン、誘導サインを補完する路面表示サインの設置	●			都市整備課	検 討 中	③ 取組継続	・検討継続
3	駅舎、コンコース及び駅周辺部における案内サインの表記内容等の統一	●			都市整備課	・関係機関を集めた案内表示に関する調整会議を開催した。(R2～R3) ・R4以降はその取決め内容に基づき各事業者で整備を実施した。	① 完了	・各事業者の案内表示更新の際には、会議を通して築いたネットワークを活用し、統一感を持った整備を行っていく。
③ DX技術を活用した情報の伝達・取得								
1	歩行者・自転車通行量調査の実施及び解析	●	●	●	都市整備課	・AI映像解析を活用した通行量調査の試験運用を行った。(R3～R4)	③ 取組継続	・R3.4年度の試験運用を踏まえ、本格導入に向けた検討を行う。
2	ブロードバンド通信環境の拡充	●			行政DX推進課	・H27・29に整備した無料Wi-Fiサービスの保守運用を行ってきた。(R3～R5)	③ 取組継続	・現在の無料Wi-FiサービスがR6年度末で終了することから、新たな設備への更新を図る。
3	来街者へのタイムリーな情報発信	●	●		都市整備課	検 討 中	③ 取組継続	・検討継続
4	映像技術を活用した体験		●	●	県交通まちづくり課	・往時の福井城をVRで再現した「福井城復元アプリ」の機能拡充(体験スポットの追加)を実施した。(R5) ・福井城址(県庁)内にVR体験スポット(10箇所)を設置し、福井駅前・中央公園・下馬御門・百間堀り・御本城橋～坤櫓の5箇所にもVR体験スポットを追加することで、回遊性の向上を図った。(R6.3～)	③ 取組継続	・民間活力を活かした、まちなかでのデジタルサイネージの設置について検討を行っている。
④ だれもが利用できる回遊ツールの導入検討								
1	回遊ツールとなる超小型モビリティや自動運転車両等の導入検討	●	●	●	福井商工会議所	R3年度:ふくい桜まつり期間中、低速電動カート「ふくトック」を運行し、福井駅周辺の歴史スポット(北ノ庄城址、福井城址、養浩館)周遊を実施した。 R4年度:ふくい桜祭りの期間中、歴史やパワースポットをテーマに、低速電動カート「ふくトック」で足羽山周辺周遊を実施した。 R5年度:ふくい桜まつりの期間中に下記3つの取組みを実施 ①足羽川河川敷の九十九橋～桜橋の区間で、電気自動車バスの往復運行を実施した。。 ②福井駅周辺の歴史パワースポットを電動カートで周遊した。 ③福井駅周辺の桜の名所を電動カートで周遊した。	③ 取組継続	・「ふくトック」を活用して駅周辺の歴史と恐竜にちなんだスポットを巡る周遊ルート運行を実施し、観光コンテンツとして周知していく
⑤ 安全な自転車利用を推進するマナー向上等の啓発								
1	「押し歩き」区域の追加設定と「押し歩き」の推進活動及び広報の強化	●	●		自転車利用推進課	検 討 中	③ 取組継続	・四季ごとの交通安全市民運動の期間にあわせ、福井駅自転車駐車場で自転車利用者にチラシを配布し、「押し歩き」の推進を図っていく。

○福井駅周辺地区交通戦略 施策一覧表

目標	施策	スケジュール			実施主体	実施状況	達成状況	今後の取組・課題等
		短期 （R3 ～ R5 ）	中期 （R6 ～ R9 ）	長期 （R10 ～ R12 ）				
<3> まちなかへのアクセス性の向上を図る								
① 公共交通の利用促進								
1	まちなかでのイベント、買い物等と連携した乗車割引制度等の実施	●	●	●	地域交通課	・福井駅西口地区の商店街及び交通事業者と連携し、参加店舗で一定額の買い物をした人に対し、当日限り有効の公共交通機関で利用できる運賃補助券を発行した。 (利用者：R3.10 ～R4.3 約1,600人、R4 約4,700人、R5 約6,800人)	③ 取組継続	・R6以降は関係機関と連携して、対応を検討していく。
2	既存の乗車券等を活用した公共交通の利便性向上	●	●	●	地域交通課	・電子企画切符や経路検索機能を備えたふくいMaaSアプリを導入し、県外から来県の方だけでなく、市民の二次交通の利用促進を図った。	③ 取組継続	・MaaSアプリの利便性向上を図る新たな機能の導入やイベントと連携した魅力的な企画切符の造成に取り組んでいく。
		●	●	●	県交通まちづくり課	・北陸新幹線開業に合わせ、路線バスで交通系ICカードを使用すると、乗車料金が半額になるキャンペーンを実施(R6.3月、R6.4月～5月の土日祝・GW期間) ・北陸ディスティネーションキャンペーン(DC)に合わせ、路線バスで交通系ICカードを使用すると、乗車料金が無料になるキャンペーンを実施(R6.10月)	③ 取組継続	・今後も、路線バスの利用促進に向けた施策に取り組んでいく。
② 利用しやすい自転車駐車場の整備								
1	利用しやすい自転車駐車場の整備	●			自転車利用推進課	・福井駅やハピリンなどの福井駅周辺の自転車駐車場のラックを更新した。(R3～R4：ラック上段の利用促進により、稼働率向上を図る) ・福井駅南自転車駐車場を新設した。(R5：250台収容)	① 完了	・自転車駐車場の利便性向上に向け、老朽化した自転車駐車場の修繕を行っていく。
2	付加価値を付けた有料自転車駐車場の導入検討	●	●	●	自転車利用推進課	検 討 中	③ 取組継続	・検討継続
③ 「ふくチャリ」の機能の拡充								
1	「ふくチャリ」の機能の拡充	●	●	●	自転車利用推進課	・まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」を運営し、R5.3月からはシェアサイクル「ふくチャリ」として運用を開始した。また、R6.3月から、「ふくチャリ」の規模を拡大した。(R5.3：ポート10箇所、自転車60台⇒R6.3：ポート19箇所、自転車102台)	③ 取組継続	・引き続きサービスを継続するとともに利用者の利便性向上も図っていく。
④ 自動車駐車場の利便性の向上								
1	民間事業者が提供する駐車場情報アプリ等への登録促進	●	●		都市整備課	・まちなかを対象とした駐車場の現況調査や稼働状況調査を行い、次年度以降のマネジメント案を検討している。(R6)	③ 取組継続	・R6実施のマネジメント案検討結果を受けて、まちなかの主要な駐車場を対象に最大手の駐車場情報アプリ(満空情報を含む)導入を進めていく。
2	主要駐車場の満空情報の提供	●			都市整備課	//	③ 取組継続	//
3	駐車場共通割引サービスの導入	●			まちづくり福井㈱	・買い物金額に応じた駐車サービス券(100円、300円)を加入店舗が利用客に配布し、提携駐車場で駐車料金の割引を受けることができる仕組み(まちPチケット)を構築した。	③ 取組継続	・引き続きサービスを継続するとともに、提携駐車場の拡充を図っていく。
4	駐車場のサービス時間増加に向けた検討	●	●		都市整備課	・まちなかを対象とした駐車場の現況調査や稼働状況調査を行い、次年度以降のマネジメント案を検討している。(R6)	③ 取組継続	・R6実施のマネジメント案検討結果を受けて、駅からの距離に応じた駐車料金の割引社会実験の実施を検討する。